教科目名　美術　(Fine　Art)

学科名・学年　：　全工学科　１年　（教育プログラム　第１学年　一般科目）

単位数など　：　必修　１単位　（前期１コマ，授業時間 19.5 時間）

担当教員　：　足利桂子

授業の概要

人間には，美的感性にあふれた創意と，それを表現したいと思う気持ちが本能的に備わっている．自らの手を通し考え，想像し，感動を持ち創り出す活動の中で，全人的な想像力や感性を高めることを目標とする．

達成目標と評価方法　　**大分高専目標(A1)**

(1) 表現（描く作る）することを中心に，表現の喜びを知る．
(2) 上手い下手ではなく，自己の持つ独創的なセンス，創意性を発見し具現化しようと試みる．
(3) 美術に親しみ，愛する心を身につける．

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1	第１章　形の表現 1.1　簡単な立体を作り、構成しデッサンする	・立体を作ることができる ・対象を描くことができる ・明暗（陰影）を付けることができる	課題①
	課題①提出		課題①１０点
2	1.2　透視図法 ・　一点透視図法と二点透視図法	・一点透視，二点透視図法を理解し，立体が描ける ・斜面，曲面のある立体が描ける ・陰影を付けて立体感をだすことができる	課題② ３ＤＰＣ
	課題②提出		課題②１０点
3 4 5 6	1.3　一点透視図法を使った立体的な空間表現（陰影，斜面，曲面含） 1.4　二点透視図法を使った立体的な空間表現（陰影，斜面，曲面含）	・正しい透視図法ができ陰影，斜面，曲面を入れることができる ・創造的な形の工夫ができる ・最後まで取り組み完成できる	課題③ 自己評価表 課題④ 自己評価表
	課題③課題④提出		課題③④各１５点
7 8 9 10 11	第２章　立体デザイン 2.1　立案 2.2　実践 2.3　作品説明	・自分の制作意図をまとめ、それを作品として表現ができる ・自らの手を通し考え、平面構成能力、立体造形能力の向上を図る ・説明の力、自己アピール能力、コミュニケーション能力の向上を図る	課題⑤ 課題⑥ 課題⑦
	課題⑤課題⑥課題⑦提出		課題⑤１０点、⑥１５点、⑦１０点
12 13	第３章３ＤＰＣ 3.1　３ＤＰＣメタセコイアでの立体表現 3.2　３ＤＰＣの操作とこれまでの立体表現のレポート	・これまでの立体表現をもとに３ＤＰＣ，メタセコイアの使い方を覚える ・他のソフトやインターネットからの素材の取り込みなどを知り、デザインの広がりを知る ・３Ｄのこれからの可能性、作品説明能力、自己アピール、コミュニケーション能力の向上を図る	課題⑧ 自己評価表 課題⑨
	課題⑧，課題⑨提出		課題⑧５点⑨１０点

履修上の注意	課題作品及び演習プリントの提出期限を厳守すること	【総合達成度】
教科書	なし	
参考図書	表現の手掛かりとなる資料は教員の方で適宜準備する	
自学上の注意	所属する専門工学と美術の関わりを考える	
関連科目	数学，製図，建築，環境	
総合評価	中間，期末試験及び再試験は実施せず，授業での課題９作品の評価とする 課題①10 点、②10 点、③15 点、④15 点、⑤10 点、⑥15 点、⑦10 点、⑧5 点、⑨10 点の１００点とし、総合評価６０点以上を合格とする	【総合評価】100　　点